

読書マラソンコメント大賞作家賞特別企画

# 沖方丁 & 桜庭一樹 ブックレビュー

+マンガレビュー  
1冊

青年のための読書クラブ

スプライトシユピーゲル

砂糖菓子の弾丸は撃ちぬけない

伏

少女には向かない職業

黒の季節

光圀伝

ブルースカイ

天地明察



特集1 桜庭一樹・冲方丁 レビュー

少女には向かない職業

青年のための読書クラブ

ブルースカイ

砂糖菓子の弾丸は撃ちぬけない

伏 鷹作・里見八犬伝

天地明察

スプライトシュピーゲル -I Butterfly&Dragonfly&Honeybee-

光圀伝

黒の季節

特集2 漫画レビュー

ES 著：惣領冬実

桜庭一樹 著

## 少女には向かない職業

TEXT BY 正弦

### 「中

学二年生の一年間で、  
あたし、大西葵十三歳

は、人をふたり殺した。」

という、思わず目を見張るような  
告白から始まるこの物語は大西葵  
と同級生である宮ノ下静香、二人  
の少女達の物語だ。

この衝撃的なプロログを終え  
ると、本書はジュブナイル小説の  
体裁を帯びる。親への反抗、アイ  
デンティティの模索、そして静香  
との出会い。全く関わりがなかつ  
た二人は急速に親交を深める。そ  
して、物語はミステリーパートへ  
と移行する。プロログで述べら  
れた通り、人をふたり殺すのだ。

武器はひとつめのときは悪意  
で、もうひとつめときはバトル  
アックスだった。▼ここまではプ  
ロログからの引用だ。そこに至

る経緯なども語りたいところだ  
が、これ以上はネタバレになって  
しまうので触れることはやめてお  
こう。

『少女には向かない職業』は、  
徹頭徹尾中学生の少女の視点に  
立って描かれた小説である。少年  
時代しか経験してない私には、拾  
いきれない感情の動きがたくさん  
あるだろう。そんな感情の最奥部  
には「少女には向かない」のは何  
故かという問いがある。しかしな  
がら書評という体裁をとる以上、  
そこに考察を加えないわけにはい  
かないのだろう。

人間にはそれぞれ自分の器が存  
在する。その器のキャパシティを  
超えて物事を詰め込むことはでき  
ない。努力をすれば何事も成せる  
というのは嘘だ。大人になるとい

少女の魂は殺人に向かない

うことは自分の器の大きさを理解することだと私は考えている。大人になれば自分が努力すればできること、努力しようができないことが把握できるようになる。それが少女と女性との差だ。けれどそれゆえに、少女の可能性は無限である。しかし可能性は無限でも、實際生まれ持った器のキャパシティは有限なのである。このギャップは時として残酷だ。

桜庭一樹は、少女という魂の器には殺人者という内容を収めておけるようなスペースが無いことを伝えたかったのではないだろうか。だからこそ、溢れさせるといふ選択肢を選んだのだと考えられるのではないだろうか。

では、少女の器に適したものはなんなのであるか。それは、友

情関係の悩みや、恋愛の悩みであるなど、色々な悩みなのだろう。成長し、ある程度理性的に物事を判断できるようにはなったが、まだまだ感情を抑えられない中学生の女の子だからこそ抱える悩みだ。結局、中学生の少女には中学生という職業が向いている。

『少年には向かない職業』では駄目なのかとふと考えたが、駄目に決まっている。一般的に男性の精神年齢の発達は、女性のそれよりも遅いのだから。



文庫 270 ページ  
出版社：東京創元社

ISBN-10 : 448847201X  
ISBN-13 : 978-4-488-47021-6  
発売日 : 2007/12

桜庭一樹 著

## 青年のための読書クラブ

TEXT BY マトン

人類の歴史は文字によって紡ぎだされる。

その時代を生きた人間が後世に伝えようと思ったからこそ引き継がれるのである。

だからこそ時代の支配者は自分にとって都合のよいものを残し、起こった出来事をおそらく隠蔽するため歴史と真実は往々にして異なる。では真実とは一体どこにあるのかと言えば、誰からも見向きもされないところでひっそりと眠っているに違いない。

19世紀初め修道女聖マリアナによって創立された聖マリアナ学

園に通う生徒たちはみな育ちの良いお嬢様ばかり。この聖マリアナ学園では男臭さがなく華やかな王子が伝統的に毎年一人選ばれる。乙女たちの抑圧された性欲は学園

の同性、学園外の異性、この王子のいずれかに向けられる。多くの女学生がこの王子に熱を上げるのである。独特とも言えるきらびやかな学園の雰囲気馴染めずにあぶれた者たちが、読書クラブには集まっていた。基本的に静かに読書をしている無害な少女たちであつたが、中には学園を支配したいという欲望や、学園中を熱狂させるほどの情熱が秘めた者たちがいた。彼女たちは学園を席卷する事件を起こし、そして嵐のように去っていった。この本は聖マリアナ学園の叙事詩なのである。

この学園の王子は当然のことながら少女である。少女であるからこそ、少女たちが抱く期待も、次に求めている行動も理解できる。少女はスターを見上げていたの

## 少女による少女のための 青年のための読書クラブ

だ。スターというロマンチックな存在に恋をする自分を愛したいのだ。だからスターは堕ちてはならない。ファンから遠い存在で、孤独で、注目を浴び続けて、美しさを磨き続けなければならぬ。もしスターがファンの期待にすぐわず、期待を裏切られたとき、スターに恋していた自分を否定しなくてはならなくなる。だから悲しみとともに憎悪する。傷つけられた、私の恋心を返してよと言わんばかりに。スターは誰にも理解されず、誰からも憧れやすく、理解しやすいスターとして、ペルソナを作り続けなくてはならない。しかし続けると心が疲れてくる。スターは流行の一種であるから、飽きられたらそれで終わりなのだ。だから飽きさせないためには、努

力し続けなくてはならない。注目が集まれば集まるほど期待が大きくなっていく。そしてついにはインフレを引き起こし、限界を迎え、破局を迎えるだろう。だから最後まで人気で有り続けるというのはとても難しい。誰からも愛されるということとは本当に難しい。なおのこと、皆に一番愛される存在になることは無理なのだ。誰からも愛されたいなんて思わずに、自分にとつての一番であるサムワンに愛されることを願えばそれでいいのだ。



文庫 248 ページ  
出版社：新潮文庫

ISBN-10 : 4-10-135681-5  
ISBN-13 : 978-4-10-135681-5  
発売日 : 2011/7

桜庭一樹 著

## ブルースカイ

TEXT BY 催花雨

# 本

当のことをいうと、桜庭一樹の作品を今まで一度も読んだことがありませんでした。桜庭一樹という名前も、代表作に「砂糖菓子 of 弾丸は撃ちぬけない」とか「青年のための読書クラブ」があるとかいうことももちろん知っていたけれど、ただ何となく手を出さずにここまで来てしまっていたのです。しかしそんな私にも桜庭作品を手取る絶好の機会がこうして巡ってきたわけです。書店で桜庭作品を何冊か手に取り裏表紙のあらすじを読み比べること数分、選んだのが『ブルースカイ』でした。

この物語は、時代と場所の異なる三つのパートから成り立っています。第一部の舞台は西暦一六二七年のドイツ。魔女狩りの

闇にのみ込まれたレンスの町で、十歳の女の子マリーは〈アンチ・キリスト〉に出会います。第二部は西暦二〇二二年シンガポール。大人になれない二十二歳の青年ディッキーの前に、十七歳の少女〴〵という奇妙な生き物が現れます。そして第三部、西暦二〇〇七年日本・鹿児島で、あたし〴〵は最後の時を迎えます。

第一部、第二部と読み進めるうちに、何の関連性もなかったはずの三つの物語は、「ブルースカイ」というキーワードによりつながっていきます。さらにもう一つ、三つのパートにつながりをもたせている重要なキーワードが、少女〴〵です。桜庭作品には少女が多く出てくると聞いたことはありましたが、やはりこの作品も例に洩れず

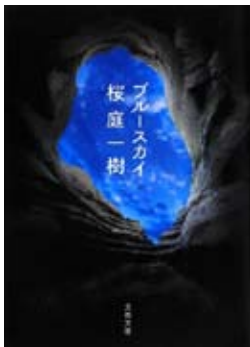
天気はよく、青い空が広がっていた。



少女」をテーマにしています。三つの物語の舞台設定は、少女という概念が存在しない中世ヨーロッパ、少女がすでに絶滅してしまつた近未来、いわゆる私たちが想像する少女が生きていた現代、と「少女」というキーワードと深いかかわりをもっており、桜庭一樹の「少女」という存在へのこだわりのようなものを感じずにはいられません。

ここまでいろいろと書いてはみましたが、実はこの物語は、何かはつきりした結論が出る類のものではなく、解けていない謎ともやもやした部分を残したままラストを迎えます。しかし何故か最後のページは、そのもやもやを全部包み込んだ爽やかさに満ちています。そこそがこの作品の一番

の魅力であると思えます。同時に、桜庭作品が多くの人に愛される理由はこういう部分にあるのかもしれないと感じました。まだ一冊しか読んでいないのに分かつたようなこと言うなと思われながらも、実際には私自身、その感覚を求めて桜庭作品を再び手に取るようになるような気がしてならないのです。



文庫 378 ページ

出版社：早川書房

ISBN-10：4150310289

ISBN-13：978-4150310288

発売日：2011/4

桜庭一樹 著

砂糖菓子の弾丸は撃ちぬけない

TEXT BY アサヤマプライム

僕たちは喋り過ぎる、  
利口なおしゃべりは無価値だ。

僕 たちの今、行う行動は二つに分けることができるのかもしれない。

生きることに直結する行動である、実弾。そうではない、甘い砂糖菓子の弾丸。

例えば、読書は実弾か砂糖菓子か？バイトは？数学は？友達と遊ぶことは？

自分自身に当てはめると、どれもこれも砂糖菓子のような気がする。藻屑のようにそんな弾丸を打ちまくっているのか？

なぎさは砂糖菓子の弾丸を放棄した少女である。その甘くてべたべたしたものでは生きていくことが出来ないかと判断した、毎日に必死な少女である。

しかし、彼女自身はその砂糖菓子に支えられて自分というものを

保っている。兄やうさぎの面倒をみたり、藻屑の嘘に付き合いつながら。

思うに一概に実弾と砂糖菓子は簡単に分けられないのではないかと。そして僕たちにはきつと砂糖菓子が必要なのだ。

大学生活は実際砂糖菓子かもしれないが、将来生きていくことに必要となると思っている。僕の場合は僕なりに精いっぱい実弾を撃っているのだ。

人は実弾と砂糖菓子をどれくらいかの割合で持っているものかもしれない。

それでも青年は時として砂糖菓子的な悩みに頭を抱える、そしてその悩みに対し絶望する。

自分というものについて、世界について、愛について。

藻屑は愛は絶望だと言う。

どういうことか？

藻屑は愛ゆえに殺されてしまった。

こんな短歌がある

「馬を洗はば馬のたましい冴ゆるまで人恋はば人あやむる心」  
愛するためにはそこまでの覚悟が必要か。そこまで思わなければ愛とはいえないのか。

愛する父親に殺された藻屑はこういう事をさして絶望といったのかもしれない。

あるいは愛されてはいても、そんな今生きている世界は虚構だと思っていたからかもしれない。

藻屑は死ぬ直前にこの世界から逃げ出そうとしていた。この世界、こんな人生は全部嘘だと言った。そんな世界で通用する実弾はもは

や実弾ではないのかもしれない。すべてが砂糖菓子に過ぎないのかもしれない。

そのような考え方は未熟かもしれない。しかし未熟だからこそ見えてくるもの、とらえられるものもあると思う。どれが正解かなんて分からないし、それを判断する今の自分というものはこれからの自分の中では一番未熟なのだ。

僕はこの本を初めて読んだのは高校1年の時である。それ以来何回も読んできて、その都度違った感じ方をしている。初読したときの衝撃はいまやもう得られない。それはきつとまだ自分が未熟で若い青年であったからだと思う。あれはあれでとても大切な読書であったし、涙したことはそれ自体意味のあることだと思う。



文庫 201 ページ  
出版社：角川書店

ISBN-10 : 4-044280104-5

ISBN-13 : 978-4-044280104-5

発売日：2004/2

桜庭一樹 著

## 伏 鷹作・里見八犬伝

TEXT BY 真

因果の輪が  
閉じるとき・・・

人にして犬、そんな奇なる存在——伏——とそれを狩る者たちの物語。狩る、狩られる。殺す、殺される。そんな求めていた非日常性がここにある。

温かみのある日常と迫力ある狩り、それらが個性的な登場人物により彩られる。はずであるのに、私が本作を通じて感じたのは、冷たさであった。それは、伏たちの人間性の欠如によるものであろうか。いや、そうではない。もちろん身体能力の面で言えば、彼らのそれは人間を遥かに凌ぐものであるが、精神面でいえば、彼らは実に人間的な思考・感情を持ち合わせている。しかしそれは、とても空虚なものであるように思われた。仲間を思う気持ちがあるのかと思いきや、基本的には無関

心無感動であったり、20年という短い寿命のために一種の悟りを開いているのかと思いきや、単なる諦めであったり。だが、それもある意味では人間的であるのかもしれない。

「利己心が介入してこない限り、人間にとって憎むより愛するほうが容易なのであって、これは人間性にとって名誉なことなのである。」これは、ホーソン著『緋文字』にあらわれる一文である。これに準えて伏の人間性について再び考えてみよう。まず、利己心の介入に関してだが、万事に対して無関心である伏にとって、利己心の介入というものはなされにくいと考えるのが妥当であろう。また、伏は憎むという行為を行い得ない。なぜならば、伏は憎むとい

う行為の発現以前に衝動的に殺生を行ってしまふからだ。彼らは、不都合や怒りに対して、思考が介入する前に行動に移してしまふ。これは、犬としての特性であろう。では、憎むということをしなない彼らは人間よりもより愛するということをするのであろうか。いや、これは前述したように無関心無感動から考えれば、愛もまた生じがたいはずである。それを裏付ける発言が本作中にみられる。「伏つてやつに生まれるとよ。なぜだか、世の中つてもんにうまくなじめねえ。一人前に愛するってことが、そもそもできねえ」これでは、伏の人間性の顕在を否定するようであるが、やはり伏には強い人間性があるのである。それをあらわす言葉として、絆 を挙げたい。

本作では、二種類の 絆 が描かれていている。猟師浜路とその兄道節によるもの、そして浜路と伏たちによるものである。前者は、作品を通して強く感じられる。兄を思う妹、妹を思う兄。彼らの言動の裏にはすべて互いを思う気持ち が秘められている。そして、後者。狩る者と狩られる者。そんな彼らに 絆 などというものが生まれるのであろうかと思われるかもしれないが、それは思いの外強く描かれていている。「おまえに狩られた いが、逃れた い、と獣のからだ が 抗い、君が愛しい が、狩りたい よ、と猟師の心も振れる。」これを 絆 と言わずしてなんと言おうか。生きるか死ぬかを別つときにおいて さえ、互いに関して憎しみは持たず、むしろ愛に近い感情を抱く。

「死」と共に「生」を感じる彼らの人間的であり、非人間的である姿は私たちに「生」きることを考えさせてくれる。



文庫 280 ページ

出版社：文藝春秋

ISBN-10 : 4167784065

ISBN-13 : 978-4167784065

発売日：2012/9

冲方丁 著

## 天地明察

TEXT BY カルロス

冲方丁、おそるべし。

この本を十ページ読んだあたりで思い出した本がある。

藤原正彦『天才の栄光と挫折』である。数学者であり、作家でもある藤原正彦は中学生のときハマって著作を読みまくり数学の美しさとひたむきに研究する数学者に感動を覚えた。数学者になりたい！と夢を膨らませて大学に入学したのであるが、学ぶにつれて底なし沼に落ちていくような恐怖に陥った。数学は難しい。数学者は並大抵のことでは慣れるものではない。私は数学を趣味の範囲に留めることにして学部卒で就活することにした。さらば数学者の夢……。

さて、藤原正彦『天才の栄光と挫折』には有名なニュートン、コ

ンピュータを發展させたアラン・チューリング、フェルマーの最終定理を証明したアンドリュー・ワイルズなど堂々たる数学者が紹介されている。その中に関孝和がいる。関孝和は日本独自の数学（和算）を發展させたとして日本史の教科書に名前だけが登場している程度であるが実は恐るべき人物なのだ、と藤原氏は言っている。ヨーロッパよりも進んだ研究をしていた上に暦を解析的に理解していた。江戸時代にこれをできたのは関孝和だけである。さらには理解不能として放置されていた天文書を20年かけて研究したのであるから驚きである。だが、関孝和は主人公ではないのだ。

少々脱線しすぎた。『天地明察』

のあらずじを紹介しよう。主人公は洪川春海（本名、安井算哲）である。囲碁の才能を買われて御城碁していたが全国各地の測量を命じられる。さらに改暦のベンチャー事業を取り仕切ることになり挫折を味わいながらも成長し、そして改暦の儀へ……。空を見上げれば星が見える。星の動きに命をかけた男の物語である。

ところが、藤原氏は主人公を称えてない。「十年がかりで晴海が完成した暦は、授時暦の常数や係数を少しづつ違えてあるだけで、本質的差異のないものである。アイデアといえるのは、「里差」つまり元の首都であった大都（今の北京）と京都の経度差を考慮して時間差を補正する、という当たり

前のことくらいである。」これでは『天地明察』の全否定……と思っただけけれども、逆に考えれば、数学者がたつた四行で切つて捨てるような業績を、華々しく面白く歴史ロマンに仕立てあげた冲方丁さんはスゴいことを成し遂げたのではないか！まるで冲方丁さんによる談話を聞いているかのような文体の心地よさ、リズム良い読書のスピード感が楽しかった。冲方丁おそるべし。



単行本 475 ページ

出版社：角川書店

ISBN-10：404874013X

ISBN-13：978-4048740135

発売日：2009/12

## 舞飛ぶ、武装少女達

冲方丁 著

スプライトシュビーゲル

I Butterfly&Dragonfly&Honeybee

TEXT BY 蓬葉二一ト

これは、深い業を背負わされた少女たちの戦いの物語。

「近未来、事故やその他の理由で体を不自由にしてしまった子供たちは、政府によって無償で体を機械化することが出来るようになった。中でも、その機械化した体で秀でた能力を発揮できた子供は、政府の治安維持組織で対テロのための武力としての仕事を果たした。本作はそんな組織に所属する3人の少女を中心とした物語である」

等と難しく書きましたが、つまるところは全身を機械武装した女の子達がアサルトライフルやヒートブレードで、武装テロリスト共をちぎっては投げのお話という認識で間違いありません！武装ガール！ギャップ萌えですよ！ギャツ

プ萌え！

さて、このライトノベル、イロモノなのは設定だけでなく、実は文体に物凄い「癖」が存在します。その「癖」を本文の一部から以下に抜粋いたしますと

『同席〓少女B+少女C——反  
応なし』

『ミニカップ入りレモン汁×  
12を開封〓投入〓開封〓投入。』

こんな感じですよ。つまり地の文で各種助詞、接続詞を省略し、代わりに意味が通りそうな記号を当てはめて文章にしています。この文体を許容できるかどうか、この本を楽しめるかどうかの分水嶺となりましょう。そして恐らくは読者の作品への賛否もここで分かれると思います。「意味分かんねえ……」と壁に投げってしまう人、「ふ、



新しい文体への挑戦か……」となんとなく訳知り顔で感銘する人、様々でしょう。なお、私個人としてはこう思いました、「そう、これは音楽だ!」と。

『+でつながった文章は多数の情報を協奏的に提供し、スラッシュや——を用いた文体は軽快なリズムや効果的な間を与える。また、各章の構成も序章、主題、展開部、クライマックスと一定のテンプレで進行し、読者が読みやすいように作られている。それはまるでオーケストラのソナタ形式のように。作者はこの作品を通して、文章を視覚的な音楽とした——それは建築で言えば「凍れる音楽」と評されるような——小説を目指していたに違いない』

と、私がそういうちよつといい

例えの書評をしたためてやろうと、にやにやしながら最終章を読み終えたら、なんとあとがきに文体の解説とそれに関する作者の意図が!ははは、俺の考えたことなんて一言も書いてねえよ!妄想だよ、妄想!

ネタはさておき、感じたことの違いを比べる(時には作者の考えとさえ!)のは読書の醍醐味だと思っけています。この不思議な文体については是非一度本作を読んだ上で、作者の意図をお確かめ頂きたいと思います。

さて、本当はもつと世界観とか、主人公達の可愛さ、不安定さとか、大人のそれっぽいやりとりとか、割と濃厚で重いSF設定とか色々語りたいのですが紙面の関係で割愛します(しかし、それらを犠牲に

してでも文体については書いておかねばならなかった……。解説足らずではありますが、この書評で興味が湧きましたら是非ラノベ作家の沖方丁の世界をお楽しみください!



文庫 318 ページ  
出版社：富士見書房  
ISBN-10：4829118970  
ISBN-13：978-4829118979  
発売日：2007/1

沖方丁 著

## 光圀伝

TEXT BY 銀魚

# 水

戸光圀、という一人の人間の人生が、ここにある。

ただの登場人物ではない。一人の「人間」が、ここに在る。

一人の男の生涯を描いた「光圀伝」。どんな難題でも諦めずに立ち向かえば成し遂げられる、という希望を描いた著者の前作「天地

明察」に対して、命をかけて挑んでもどうにもならないことはあるが絶望することはない、この世に無駄なことなど何一つ存在しない、という光圀の心の叫びが響いてくる一冊だ。

750ページを超えるこの超大作の序盤から一貫して語られること。それは「義とは何か」という一言に尽きる。

光圀はそれを追い求め、やがて見つけた大義を成し遂げるために

生涯をかける。今この時代、私たちに同じことを問われても答えに詰まるだけだろう。光圀が出した答えも素直に納得し難いかもしいない。しかし己を、義を貫き通す姿には、不思議と胸が熱くなる。心を揺さぶられる。

「なぜ、私なのか」という問いを光圀はずっと抱え続ける。この問いは、沖方丁作品に共通して取り上げられているように思う。自己否定の感情から存在意義を、自己肯定できる道を見つけていく主人公の姿。これは「天地明察」において、またそれ以前に発表された数々のSF作品の中でも描かれている。「認められたい」ということ。だが今のまま肯定されたとしても信じられないこと。こうした光圀の葛藤は、きつと現代に生

「義」とは何か。

きる私たちにも重なる部分がある  
のではないだろうか。

だからこそ、こんなにも光圀の  
背中がかっこよく見えるのかもしれない。

江戸時代前期。ようやく戦乱の  
時期が終焉を告げ、平和な世の中  
がやってきた時代。日本は太平の  
世を創りあげるにあたって覆され  
た様々な価値観にぶつかっていた  
だろう。そのときに道を示してく  
れたのが、歴史だった。そうして  
「大日本史」の編纂という大事業  
に取り掛かる光圀を、私たちは歴  
史上の人物として認識し、小説の  
中で背中を追いかけている。少し、  
不可思議な気分になる。

物語はきつと続いているのだ。  
この時代から現代まで、ずっと。  
本書では、光圀にとつてかけがえ

のない人たちとの出会い、そして  
死という永遠の別れが何度も描か  
れる。それは光圀だけではない。  
私たちの人生も、出会いと別れの  
繰り返しだ。

光圀が何かを成し遂げたとき、  
その側には必ず家族や友人の姿が  
あったように——私たちもいつも  
誰かの助けを借りながら生きてい  
るのだろう。

光圀が大切な人の死を何度も経  
験し、彼らの想いを背負って成長  
してきたように——私たちの生き  
る毎日も、誰かとの出会いや別れ、  
誰かの強い想いによって支えられ  
ているのだろう。

助さんも格さんも出てこない。  
諸国漫遊もしない。これまでのイ  
メージの中の「水戸黄門様」の影  
はどこにもない。

けれどとても魅力のある、義に生  
き義に死んだ一人の男、水戸光圀  
が、ここにいます。



単行本 751 ページ

出版社：角川書店

ISBN-10：404110274X

ISBN-13：978-4041102749

発売日：2012/09

冲方丁 著

## 黒の季節

TEXT BY 笹

縁は結ばれ、賽は投げられた

2 010年の本屋大賞受賞作『天地明察』。9月に公開された同原作の映画に加え、新刊『光圀伝』の好評っぷり。今や、冲方丁の読仮名も多くの人の知るところとなった。

本書『黒い季節』は、そんな冲方氏が高校卒業記念に執筆したデビュー作だ。裏社会に生きるヤクザと、裏の裏の闇の中に生きる異能の者たち。見えない壁に隔てられていた縁が、流動する一枚の絵を中心に結ばれた時、世界は不気味な音をたてて動き始める。暴力的に剥きだされる業罪と、それに足掻き蹴く人間の姿。著者の作品に共通する強烈な自己定義への渴望に挟られる。

この本を手取るのには、少々勇気がいった。『天地明察』の印

象ばかりが強く、氏の描くハードボイルドファンタジーたる境地に未知故の恐怖を覚えたからだ。怖々読み始めて、愕然とした。鈍器で殴られたかのような衝撃。これが才能か。現在の作品たちに比べれば非常に荒削り、混沌として訳が分からない。陰陽道や修験道、曆学に彩られた特異な世界観は、読者を無視して突っ走る。なのに、どうにも離れがたい魅力とエネルギーが満ちているのだ。なるほどこれは、作家・冲方丁の出発に相応しい。

彼の文体の特徴でもある言葉へのこだわりも顕著に表れている。「震章・魍(こだま)」「破章・魍(みたま)」「萃章・魅(へんげ)」「急章・魍(すだま)」「離章・鬼(おにがみ)」という章題、異能の者

が扱う「言」についた魄の数々、そして登場人物やその能力・現象に付けられた名……。

「名」—— 誠の中にある無数の名の中から、それはまるで新しく生まれるようにして湧き上がってきた。名づけるというのは、言葉

を生まれ変わらせるということでもあるのだと誠は思った。言葉を食べ、新たな息吹を吹き込み再び世に出す、作家という職業に

ること。その意識の強さは著者自身のペンネームにも見受けられる。生まれた丁巳（ひのとみ／暦の干支の用語）の「丁」が意味する火が爆ぜる様子と、「沖」の字の氷が割れる音、職業を意味する「方」。熱意と冷静さ、それを職業にしていく決意が、そこにはある。古来、「名」はその個を表す最も

短く力のある言として重要な意味をもってきた。作家・「沖方丁」の名と、彼の生み出す作品それぞれの名が、読者に食まれ、各個々人の中で意味づけされながら如何に広がりを見せていくのか。まこと、楽しみである。



文庫 393 ページ

出版社：角川書店

ISBN-10：4044729107

ISBN-13：978-4044729103

発売日：2010/8/25

惣領冬実 著

ES

TEXT BY 銀魚

他

人の心の中が見えたなら。相手の心が読めたなら。誰でも、そう考えたことが一度や二度はあるのではないだろうか。

だが、もし本当にそんな能力があったなら。——それは、人間の手に余るものなのかもしれない。

不老不死の研究を進めていく中で発見された、免疫システムが進化する変異遺伝子—Eternal Sabbath。永遠の安息日、と名付けられたその遺伝子は、あらゆる

細胞の異変や外部からの侵入者である病原体に対して遺伝子自らを考え変化し鉄壁の防御システムを展開するという、まさに夢のような、完璧な生命体だった。研究者たちはその遺伝子を組み込み、遺伝子操作人間を創りあげる。オリジナルであるES00—シュロ、

そしてオリジナルの謎を解明するために作り出されたクローン、ES01—イザク。彼らにはその並はずれた免疫力の高さ以外にも、他人の脳に潜入し操作するという能力を持っていた。研究所から逃げ出したシュロは、「秋庭亮介」という名前を得て生活するようになる。一方でイザクは社会に潜み、そして人間への報復する機会をうかがっていた。

物語は、一人の研究者・九條未祢が亮介と出会い、秘密を知るところから始まる。やがて起こり出す奇妙で残酷な事件の数々に、亮介は未祢と共にイザクと戦うことを決意する。人類との共存を望む亮介と、人類の敵となったイザク。彼らの戦いと、そして亮介と未祢の関係は一体どうなるのか。善と

人間は、神ではない。

悪、人の心と人間性、人間の成長。人を愛するとはどういうことなのか。命の重さは本当に平等ではないのか。圧倒的な画力と繊細な心理描写で、そんな問いを次々と投げかけられる。

SF作品としては比較的オーソドックスな設定の物語だ。遺伝子操作というテーマだけで言っても、「YASHA - 夜叉 (著・吉田秋生)」をはじめとする多くの作品が挙げられるだろう。その中で本作にしかない素晴らしさを挙げると言われれば、私は作者の画力を特筆したい。ただ絵が上手かどうかではない。不思議なほど、物語に合っているのだ。

ストーリー上、たくさんの人が死ぬ。え、この人まで？ という衝撃も一度や二度ではない。しか

しグロテスクな雰囲気や微塵も感じさせないのは、淡々としてどこか無機質な美しさを持つ絵の効果だと見える。目を覆いたくなるような残酷さも、鳥肌が立つような精神世界も、不気味なまでに美しい絵で見事に表現されている。その迫力は恐ろしいほどだ。ここまですべて物語の雰囲気と響きあっている漫画は少ない。

実は、本作は少女漫画家だった作者の「青年誌デビュー作」。作者が本当に描きたかった、しかし少女漫画では描けなかったものが詰まっているのかもしれない。相手が何を考えているのかわからずに困ったり悩んだりすることもあるが、だからこそ相手を理解するために歩み寄っていく、それが人間だ。「人間」という存在を

描き切った本作は改めて思い出させてくれる。私たちが何の力も持たないただの「人間」であることを。



漫画 376 ページ

出版社：講談社漫画文庫

ISBN-10 : 406370372X

ISBN-13 : 978-4063703726

発売日：2006/10

# 読書マラソンに参加しよう

## 読書マラソンとは

読書マラソンは、大学生生活の4

年間で本を100冊以上読むことを目標に、全国の大学生協で行われている読書推進活動です。横浜国大生協においてもその活動は行われています。活動内容はいたってシンプル。本を読んで感想を書く。これだけです。

では読書マラソンへの参加方法を紹介しましょう。特に難しいことはありません。

① 生協店舗にあるエントリーシートに必要事項を記入して、書籍部の店員さんに持つ

ていってください。手続きがすんだらエントリー完了です。

② 本を読みましょう。ただしコミックスや雑誌、教科書は対象外になっています。

③ コメントカード（ポップカード）に本の感想を書いて、書籍部の店員さんに提出しましょう。コメントカードは書籍部の店員さんに頼めば貰えます。

では参加するとどんな特典があるのでしょうか。実はコメントカードを10枚提出するごとに、何と、横浜国大生協でつかえる図書

券500円分がプレゼントされます。本を読んで感想を書くだけで図書券がもらえるなんて、とってもお得な企画ですね。

読書マラソン

学協 番号

年 月 日

書名

著者

出版社

読んだ  読んだが  読まなかった  その他

☆☆☆☆☆

コメント

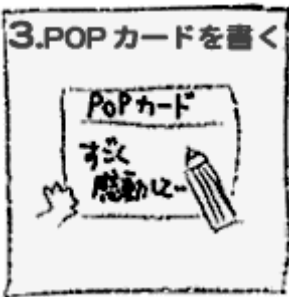
●この書かれたのは1994年のパンフレットです。途中で修正、ホームページでは印刷物への転載もできなくなりました。

コメントカード

## コメント大賞

さらに年に1回、「全国読書マラソンコメント大賞」が開催されています。全国の大学生協がコメ





中から厳正な審査の結果、最優秀  
しいコメントの数々でした。その  
応募があり、そのどれもが素晴ら  
でも「国大読書マラソンコメント  
大賞」が開催されました。多くの  
そんな全国読書マラソンコメン  
ト大賞にあわせて、横浜国大生協  
品が設けられています。今年度も  
全国から多数の応募がありまし  
た。

賞他が決定され、それぞれ景品が  
授与されました。

また、関東圏の読書関連のサー  
クルが集まって、読書マラソン交  
流会という企画も行われました。  
会場に作家の森美登美彦さんを招  
待するなど、大規模な企画となり  
ました。

読書マラソンの活動は年々活発  
となってきました。ぜひ参加し

## 読書マラソン交流会

て、読書をさらに楽しみましょう。  
皆さんもぜひ参加してください。

# Tomozo

Vol.19

## 編集長 アメヤ

コミティア原稿が終わらな—い。アメヤです。今は書評じゃなくて漫画の原稿描いています。というわけで書評皆勤記録が途切れてしまいました。うぐぐ。相変わらず新入生は増えないです。とてもまずいです。この冊子を見て興味を持たれた方は是非部会にお越しください。友蔵廃部の危機です。

発行日 2012年11月2日

発行 生協読書推進委員会  
友蔵

## あとがき

間に合って良かったです。 (真)

貴サークルは、月曜日西地区”こ”ブロック-21bに配置されました。 (マトン)

ロングコートキャラを確立しようと思います。 (アサヤマプライム)

1000冊/年はさすがに遠かった。 (笙)

「人生、宇宙、すべての答え、それは42である。」  
ってゲーグル先生が言った！ (蓬莱ニート)

計画性がほしいです。 (催花雨)

クルクルトントンクルトントント (銀魚)

松岡正剛特集頑張るぞー。 (カルロス)

「お前、リンツかジャンポール・エヴァンだったらリンツだよな」って言われた。 (正弦)

# 次号は 2013年 1月中旬 発行予定

尚、予定は断り無く変更される場合がございます。

## 友蔵とは

生協読書推進委員会

友蔵

毎週火・木曜日 昼休み

教育7号館3階

302号室あたりにて活動中

「学生にもっと読書に親しんで  
もらおう」という理念のもとに生  
協と協力して創られた書評サーク  
ルです。年数回の書評誌発行や生  
協で行っている読書マラソンのお  
手伝いをしたりと積極的な活動を  
しています。普段はお昼に集まっ  
てのお喋りがメインなようなユル  
ユルな感じでやっています。興味  
をもたれた方は、火・木の昼休み  
に教育7号館3階302号室あた  
りで集まっているのでお気軽にお  
越し下さい。お待ちしております。



TOMOZO

# 書籍インターネットサービス

http://honya.univ.coop/

生協ならインターネットでも  
和書 **10%OFF!**



携帯はこちらから

CD/DVDもご利用できます

組合員証の提示にご協力ください

## オンライン上で和書が検索・注文できます!

日版「HonyaClub.com」との提携で、早く確実なサービスを実現しています。  
 ※「HonyaClub.com」のポイントサービスは生協では適用されません。  
 ※宅配の場合は生協割引が適用されませんので定価販売になります。(送料負担あり)  
 「本やタウン」をご利用されていた皆様は、そのままのID・パスワードで利用できます。  
 新規に利用希望の方は、登録をお願いします。

- 文庫、コミックから専門書まで注文できます。
- リアルタイムに在庫が表示されます。
- 在庫品は2~3日で店舗に到着します。

## 生協店舗で受け取れます。

- ご所属の大学生協店舗をご指定下さい。

## メールで状況をご連絡します。

- 生協店舗に入荷した時点で「入荷案内メール」を送信いたします。
- 「ご注文履歴」はマイページから確認ができます。

オンライン書店だから  
**24時間営業**  
パソコン携帯からご注文可



お問い合わせは生協の店舗まで

### 【個人情報の扱いについて】

お申し込みの際の個人情報は、ご本人との連絡、生協「HonyaClub.com」(日版)からの案内に利用させていただきます。  
 また大学生協取引先との商品・サービス手配に利用させていただきます。

2012

11/2

毎季

1回発行

平成十九年十月八日第一号発行 平成二十四年十一月二日第十九号発行・配布  
 住所 神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台七九一 横浜国立大学教育七号館三〇二号室  
 発行・編集 宇佐見桃代 発行所 工学部生協